

プロジェクト名	次世代型情報基盤教育への新展開
研究所名	社会情報教育イノベーション研究所(所長 竹内光悦 准教授)
設置開始	2011.7.20
設置終了	2014.3.31

■研究の進捗状況(研究員の活動実績含む)

当該年度は各研究員のテーマにそって、各自環境づくりや適宜各自の課題に取り組んだ。具体的には以下の通りである。

□「情報取得資格支援に対する取り組み」

公的な情報資格取得支援として Microsoft Office のスキルを測るMOS 資格取得に向けたサポートや大学を試験会場とするための環境設備充実を測った。

□「情報端末を用いたデータ分析環境の構築」

携帯端末を用いたデータ分析の授業準備やソフトウェアの開発を行った。

□「共同・協調学習モデルの構築」

企業と共同して企業 PR 動画作成プロジェクトを立ち上げ、授業展開を試みた。

□「ネットワークを用いた国際コミュニケーション」

国内外の学生間のコミュニケーションを測った。

■現在までの達成度

現在までに当初の予定通り、環境づくりができ、次年度への展開がきている。ただプロジェクトの開始時期が遅れたこともあり、学会等での発表や他学校での実施状況視察調査などが遅れており、これらは次年度への計画とする。また、資格支援についても環境ができたため、申請等の処理を4月から開始する予定である。

これらのことを踏まえ、研究計画に対してはおおむね80%の達成度と考えている。

次年度にむけて授業計画等もできており、プロジェクト全体での計画の遅れは特にはないと思われる。

■次年度以降の研究(見込み)

当該年度の環境整備を踏まえ、次年度では当初の予定通り、クラウドおよびノマドスタディを考慮した授業・ゼミへの展開する。加えて1年目に実施した情報環境整備、資格取得支援、等の実施効果測定等をまとめ、最適化を目指す。

具体的には以下の通りである。

1. 情報資格取得支援として MOS 試験会場申請、および試験開始
 2. クラウドを活用したメディア授業の展開
 3. 中高大の連携を踏まえたデータ分析授業の計画
 4. 学園教職員に向けた情報環境の整備、説明会の開催
- これらの実施を踏まえ、今後の計画への継続準備をも行なう。

■代表的な研究成果(雑誌、学会発表、図書等)

[1] 社会情報教育イノベーション研究所ウェブサイト

URL: <https://sites.google.com/site/jisseniiisie/>

[2] 竹内光悦(2012)新指導要領を踏まえた大学基礎教育における統計教育のアプローチ, 実践女子大学人間社会学部紀要, 第8集, 137-141.

[3] 竹内光悦(2012)社会人素養としての統計グラフ教育の展開, 2012年度数学教育学会春季年会発表論文集, 93-95.

[4] 竹内光悦(2011)統計グラフ教育の現状と展望, 2011年度数学教育学会秋季例会発表論文集, 132-134.

[5] 竹内光悦(2011)国内のこれまでの統計に関する入試問題の現状—センター試験問題からみる課題, 日本行動計量学会第39回大会発表論文抄録集, 181-184.

[6] 竹内光悦・上村尚史・末永勝征(2011)「求める」から「考える」をサポートする簡易統計計算システム, 2011 PC Coference CIEC 研究大会(CD-ROM).